

日本史

〔 I 〕 次の史料A～Eを読んで、設問に答えよ。(史料は、書き改めたり、省略したりしたところもある。)

A 一 日本ハ神国たる処、きりしたん国より邪法を授け候儀、太以て然るべからず候事。

一 伴天連、其知恵の法を以て、心ざし次第に を持ち候と思召され候へハ、右の如く日域の仏法を相破る事曲事に候条、伴天連の儀、日本の地ニハおかせられ間敷候間、今日より廿日の間ニ用意仕り帰国すべく候。

一 黒船の儀ハ商売の事に候間、各別に候の条、年月を経、諸事売買いたすべき事。(松浦文書)

B 一 異国え日本の船遣すの儀、堅く停止の事。

一 日本人異国え遣し申す間敷候。若忍び候て乗渡る者之有るに於ては、其者は死罪、其の舟并船主共ニとめ置、言上仕るべき事。(『教令類纂』)

C 一 日本国御制禁成され候吉利支丹宗門の儀、其趣を存知ながら、彼の法を弘むるの者、今に密々差渡るの事。

……自今以後、かれうた渡海の儀、之を停止せられ訖。此上若し差渡るニおゐてハ、其船を破却し、并乗来る者速に斬罪に処せられるべき旨、仰せ出さるる者也。(『御当家令条』)

D 日本は海国なれば、渡海・運送・交易は、固より国君の天職最第一の国務なれば、万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取て日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり。自国の力を以て治る計りにては、国力次第に弱り、其弱り皆農民に当り、農民連年耗減するは自然の勢ひなり。(『経世秘策』)

E 一体いきりすニ限らず、南蛮・西洋の儀は、御制禁邪教の国ニ候間、以来何れの浦方ニおゐても、異国船乗寄せ候を見受け候ハバ其所ニ有合せ候人夫を以て、有無に及ばず、一図ニ打払ひ、逃延び候ハバ、追船等差出すに及ばず、其分ニ差置き、若し押して上陸致し候ハバ、搦捕り、又は打留め候ても苦しからず候。……二念無く打払ひを心掛け、図を失わざる様取計ひ候処、専要の事に候条、油断無く申し付けらるべく候。(『御触書天保集成』)

問 1 史料Aについて、文中の空欄Xにあてはまる語句として、最も適切なものを、次の①～⑤から1つ選べ。

① 檀家 ② 檀那 ③ 宗徒 ④ 宗門 ⑤ 信者

問 2 史料Aおよび当時のキリスト教政策について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。

① 秀吉は、はじめ信長と同様にキリスト教を保護した。
② この法令が出された翌年、長崎を直轄地とした。
③ 貿易は認められていたため、この法令による統制は徹底しなかった。
④ 宣教師たちは30日間のうちに帰国するよう言い渡された。

問 3 史料Aに関連して、16世紀ごろの対外関係について述べた以下の文X・Yの正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。

X 日本産の銀が大量に中国に流入し、その対価として中国産の生糸などが日本にもたらされるなど日中間の貿易が活発になった。

Y インドのゴアを攻略したポルトガルはマラッカ(現マレーシア)も占領し、その後九州各地に漂着もしくは来航するようになった。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 4 史料Aに関連して、南蛮文化について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 4

- ① パン・カステラ・カルタ・たばこなどの文物がもたらされた。
- ② イエズス会は、教会や学校、病院などをつくり、日本語で布教をおこなった。
- ③ 油絵や銅版画の技法が伝えられ、日本人画家によって「南蛮屏風」などが描かれた。
- ④ 天草版『平家物語』や『日葡辞書』はポルトガル語で表記された。

問 5 史料Bから読み取れることについて述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 5

- ① 外国に日本の船を派遣することが厳重に禁じられた。
- ② 日本人が海外に渡航することを禁止した。
- ③ 在外日本人に対し速やかに帰国するよう促した。
- ④ 外国に密航しようとした日本人は死罪に処せられた。

問 6 史料Bに関連して、この禁令が出されるまでにおきた①～⑥の出来事を、年代の古い順から並べたとき、4番目にあたるものを選べ。 6

- ① 高山右近らを海外に追放 ② 元和の大殉教
- ③ 幕府直轄領に禁教令を出す ④ スペイン船の来航を禁止
- ⑤ 奉書船以外の海外渡航を禁止 ⑥ 糸割符制度を創設

問 7 史料Cについて、下線部aに該当するのはどこの国の商船か。最も適切なものを、次の①～⑤から1つ選べ。 7

- ① フランス ② スペイン ③ 清
- ④ イギリス ⑤ ポルトガル

問 8 史料Cに関連して、幕府の鎖国政策について述べた以下の文 a～dのうち、正しいものの組み合わせを、次の①～④から1つ選べ。 8

- a 清国人の居住地を限定するため、長崎に唐人屋敷が設けられた。
 - b 長崎にあったオランダ商館を平戸の出島に移した。
 - c 朝鮮とのあいだで講和を実現させ、対馬に倭館が設置された。
 - d 琉球王国は家康の許可を得た島津氏の軍に征服され、薩摩藩の支配下に入った。
- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 9 史料Dの下線部bに関連して、天明の飢饉について述べた以下の文 X・Y の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。

9

X 浅間山噴火やその影響による冷害もあって大飢饉がおり、北陸地方を中心に多くの餓死者・病死者を出した。

Y 大飢饉がつづいたため全国で数多くの百姓一揆がおり、江戸や大坂をはじめ各地の都市では激しい打ちこわしが発生した。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問10 史料Dに関連して、江戸時代の洋学について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 10

- ① 荷田春満は、洋学や儒教・仏教の思想を取り入れて国学を発展させた。
- ② 稲村三伯は『ハルマ和解』と題する辞書をつくった。
- ③ 幕府は天文方の高橋至時に西洋暦を取り入れた寛政暦をつくらせた。
- ④ 志筑忠雄は『暦象新書』を著し、ニュートンの万有引力説などを紹介した。

問11 史料Eの法令が出されたころの幕府の対外政策について述べた文として、
明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 11

- ① シーボルトを国外追放処分にした。
- ② 全国各地の海岸に台場を設け、大砲を備えさせた。
- ③ 清・朝鮮・琉球の船も打ち払いの対象とした。
- ④ オランダ船は長崎以外の場所では打ち払うことにした。

〔Ⅱ〕 次の文を読んで、設問に答えよ。

「日本の歴史」という言葉を聞くと、本州から九州までの領域を中心とした歴史をイメージしやすい。しかし、その領域の外側に位置する、北東の北海道と南西の琉球諸島においても、それぞれ個性ある歴史が育まれて来た。

琉球諸島の島々には、19世紀まで琉球王国が存在した。1609年に薩摩の A の軍が侵攻し、以後は薩摩藩の支配を受けていた。一方で、14世紀から続く中国との関係も維持し、17世紀以降は清を宗主国としつつ薩摩藩の支配を受ける両属関係にあった。明治政府は琉球を日本領とする方針を取り、まず1872年に琉球藩において政府直属とし、国王の B を藩王とした。さらに台湾へ出兵し、琉球の宗主国である清に対して、琉球の人々を日本人と認めさせようとした。明治政府は琉球に対し清との関係断絶を命じ、1879年に琉球藩を廃止して沖縄県を設置すると、琉球国王(藩王)を東京へ移した。宗主国としての清は日本の措置に反発し、抗議は日清戦争で日本が勝利するまで続くことになる。

太平洋戦争末期の1945年4月、アメリカ軍は沖縄本島に上陸し、沖縄戦が開始された。多くの住民が戦争に巻き込まれ、集団自決に追い込まれた人も出るなど、おびただしい数の犠牲者を出すことになる。その後はアメリカの占領を受け、1972年に日本への「復帰」が実現するが、現在も広大なアメリカ軍基地が残されたままになっている。

北海道では、5世紀以降に成立するオホーツク文化、7世紀以降に成立する擦文文化といった漁労・狩猟に基礎を置く文化を経て、13世紀には固有の言語と

宗教を持つアイヌの文化が生まれた。和人の進出の中、1457年にコシャマインを中心に蜂起するが、上之国の領主蠣崎(武田)氏によって制圧された。蠣崎氏は近世には松前氏と改称し、1604年からアイヌとの交易独占権を得て藩政を敷いた。1669年にシャクシャインの戦いが起こるが、松前藩は津軽藩の協力を得て勝利し、アイヌは全面的に服従させられる。18世紀前半までには商場知行制に代わって場所請負制が広がり、アイヌの立場は変化していく。

1792年に根室へ来航したロシア使節ラクスマンが江戸湾入湾を要求したことが契機となり、幕府は江戸湾と蝦夷地の海防強化を諸藩に命じた。さらに18世紀末からは、蝦夷地(北海道)を日本領にしようとする動きがあった。江戸時代末から近代にかけて、日露間で複数の条約が結ばれ、その都度領域は変化した。またロシアとの国境を巡る動きの中、明治政府は1869年に蝦夷地から北海道と改称し、北海道の開拓に力を入れる。

こうした日露両国の駆け引きの中、現地のアイヌは翻弄されることとなる。アイヌに対して1899年に北海道旧土人保護法が制定されるが、アイヌの伝統的な生活や文化は徐々に破壊されていった。旧土人保護法は1997年のアイヌ文化振興法制定にともない廃止され、2019年にはアイヌを先住民族と明記したアイヌ施策推進法が施行された。

問1 文中の空欄A、Bに入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 1

- ① A 島津家久 B 尚巴志
- ② A 島津忠義 B 尚豊
- ③ A 島津家久 B 尚泰
- ④ A 島津久光 B 尚寧

問 2 下線部㉓について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～

④から1つ選べ。 2

- ① 琉球産の黒砂糖を上納させたほか、独立した王国として琉球王国に中国との朝貢貿易を継続させ、得られた中国の産物も納めさせた。
- ② 琉球王国は耕地に恵まれなかったため対中貿易の貿易利潤を家臣に分与する統治体制をとっていたが、これを改変させた。
- ③ 検地を行って石高制による農民支配を確立し、国王の尚氏を石高8万9000石余りの王位につかせた。
- ④ 国王の代がわりごとにその就任を感謝する謝恩使を、将軍の代がわりごとに奉祝する慶賀使を幕府へ派遣させた。

問 3 下線部㉔に関連して、14世紀以降の日明関係について述べた文として、

明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 3

- ① 日明貿易は、各国国王が明の皇帝に朝貢し返礼として品物を受け取る形式をとった。
- ② 明は倭寇対策として国王以外には貿易を認めない海禁政策をとったため、明との貿易には、明から国王の称号を得なければならなかった。
- ③ 中国との間で締結された己酉約条を基本とし、福建に出先機関を置いた。
- ④ 足利義満は、明に側近の僧祖阿と博多商人の肥富を派遣して国交を開いた。

問 4 下線部㉕について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～

④から1つ選べ。 4

- ① 1871年に琉球の人々が台湾へ漂着し、多数が現地住民に殺害された事件を契機に発生した。
- ② 清は台湾の現地住民が犯した殺傷行為に対し責任を負う態度を示したが、日本と琉球の反感はおさまらなかった。
- ③ 日本の軍人や士族の強硬論に政府が押される形で、事件から数年経過した1874年に実行された。
- ④ イギリスの調停もあり、清は日本の出兵を正当な行動と認め、事実上の賠償金を支払った。

問 5 下線部㉖に関連して、琉球処分とその後の沖縄県について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 5

- ① 本土と大きく異なる土地制度、租税制度、地方制度などを簡単に変更できず、旧制度がその後も温存され、衆議院議員選挙は1912年になってやっと実施された。
- ② 琉球藩の廃止にあたって、武力行使も辞さないという強硬策がいったん決定されるが、帰国した大久保利通らの反対により方針が転換された。
- ③ 本土との経済格差は大きく、県民所得も全般的に低かったもののやがて解消し、経済目的の海外移住は他県に比べ低調だった。
- ④ 沖縄の領有に関する日本と清の対立を、グラント前アメリカ大統領が調停し、奄美諸島以南を清国領とする分割案が一旦成立した。

問 6 下線部㉔について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～

④から1つ選べ。 6

- ① アメリカは沖縄を占領して日本本土への攻撃基地を築くことを目指し、1945年3月下旬から徹底的な砲爆撃を開始した。
- ② 日本軍はアメリカ軍を内陸に入れず、海岸で足止めして反撃する持久戦態勢をとり、激しい地上戦を展開した。
- ③ アメリカ軍の沖縄上陸の直後、小磯内閣は退陣し、鈴木貫太郎が内閣を組織し、ソ連に和平交渉の仲介を依頼しようとした。
- ④ アメリカは沖縄戦の開始と共に、南西諸島の本土からの分離を宣言し、軍政府を設立してその管理下に置く方針をとった。

問 7 下線部㉕に起きた出来事について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 7

①～④から1つ選べ。 7

- ① 日本では律令国家の仕組みが整い、藤原不比等が養老律令をつくり、藤原仲麻呂によって施行された。
- ② ヤマト政権の大王権力が拡大する中、朝鮮半島の新羅と結んだ筑紫国造磐井が大規模な戦乱を起こした。
- ③ 農民の人口増加に対応し税の増収をはかるため、政府は三世一身法や墾田永年私財法を発し、耕地の拡大を図った。
- ④ 中国で唐が成立すると、政府は犬上御田歙をはじめとして遣唐使を派遣し、中央集権体制の確立を目指した。

問 8 下線部㉖について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1

つ選べ。 8

- ① 商場知行制では、松前氏が家臣団にアイヌとの交易権を知行として与え、交易収入が家臣に与えられていた。
- ② 商場における交易相手は、蝦夷ヶ島の和人地(渡島半島)に居住するアイヌ集団のみに限定された。
- ③ 場所請負制では多くの商場が和人商人の請負となり、アイヌは和人商人に使われる立場から自立した交易相手へと変わっていった。
- ④ 場所請負制が定着した18世紀前半以後、松前藩とアイヌの関係は安定し、明治維新までアイヌによる蜂起は起こらなかった。

問 9 下線部㉗について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～

④から1つ選べ。 9

- ① 現地のアイヌとロシア人が交易を行っていた択捉島に対し、1798年に探査を行い、「大日本恵登呂府」の標柱をたてた。
- ② レザノフの来航を受けて、幕府は八王子千人同心を蝦夷地に入植させ、対外防備を増強した。
- ③ 東蝦夷地を永久の直轄地とし、現地のアイヌを和人として、名前を和人風に改めさせ、和人同様の風俗を強制し、首長を名主に任命するといった同化政策を進めた。
- ④ 1807年から1821年まで、松前藩と蝦夷地を全て直轄にして松前奉行の支配のもとにおき、東北諸藩に警備させた。

問10 下線部①に関連して、1853年から1905年までの日露間の外交について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 10

- ① 日露和親条約では、択捉島以北の島々は日本領、得撫島以南の千島列島をロシア領とし、樺太(サハリン)は境界を定めなかった。
- ② 樺太・千島交換条約では、樺太の権利をロシアに譲り、代わりに日本は千島全島を領有した。
- ③ 下関条約では、日本が中国から遼東半島を割譲させたが、東アジア進出を目指すロシアがイタリア・ドイツと共に返還を要求する三国干渉が起こった。
- ④ ポーツマス条約では、北緯50度以南の樺太と付属の諸島を日本が領有したが、韓国に対する指導・監督権が日本にあることをロシアは認めなかった。

問11 下線部①について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 11

- ① 太政官直属の開拓使が置かれ、アメリカ式の大農場制度・畜産技術を移植し、開拓に力を注いだ。
- ② 1874年には、士族授産の目的もあって屯田兵制度を設け、ロシアに対する備えとした。
- ③ 府県制・郡制が制定された1890年に道議会が開設され、北海道における地方自治が確立した。
- ④ 1876年に開校した札幌農学校に招かれたクラークの影響を受け、青年知識人の間でキリスト教の信仰が広がった。

〔Ⅲ〕 次の文を読んで、設問に答えよ。

「サラリーマン」という言葉が一般に定着し始めるのは、大正時代の末頃からであったと言われ、この時代に「サラリーマン」が一つの社会階層として認識されるようになったと考えられる。ここでは、彼らの登場とともに変貌を遂げた都会における生活・文化の様相を見てみることにしよう。

東京では、関東大震災後の帝都復興事業とともに、官庁・民間のビルが次々と竣工したことによって、都市の景観は大きな変化を遂げた。また、震災の被災者が大量に郊外に移住し、その後も人口流入が続いたことによって、東京郊外の様子も大きく変わり、都市化・宅地化が進行していった。そして、「サラリーマン」もまた、新興郊外生活者としてその発展の担い手となった。こうした郊外の発展と省線・市電・私鉄など各種交通機関の発達にもなって、ターミナル駅周辺が、新しい繁華街として発展を遂げた。例えば新宿は、三井財閥系の三越のような百貨店や、新宿武蔵野館や歌舞伎座といった映画館・劇場からなる消費・娯楽の一大センターとして、多くの人々を惹きつける街になった。

一方、活字文化の面でも「サラリーマン」らを消費者とする大衆化が進んだ。戯曲『父帰る』の作者としても知られる A が創刊した『文藝春秋』は、手軽な娯楽的読み物を求める「サラリーマン」を中心に読者数を拡大し、講談社が創刊した『ア』は娯楽性、実用性に富んだ大衆雑誌として広い読者層を獲得した。新聞では、『大阪毎日新聞』と『大阪イ』および両紙の系列紙が各地で読まれるようになった。その過程で多くの在東京紙は没落したが、正力松太郎が社長となった『ウ』は、さまざまな独自の企画によって部数を拡大し、第二次世界大戦後も高い発行部数を維持しつづけた。こうした新聞や雑誌において、いわゆる大衆文学の作家が活躍し、作品をつぎつぎと発表していった。

「サラリーマン」をとりまく状況は、第一次世界大戦の終了から続く不景気のなかで、厳しいものになっていった。例えば、大学を出ても職につけない状況が広がり、また、就職できたとしても、会社の倒産や失業などの不安がつきまとった。大衆文化が発展するなかで、「何か僕の将来に対する唯ぼんやりとした不安」と書き残して自殺した B の存在は、当時のそんな社会状況を反映していたのかもしれない。

問 1 文中の空欄 A, B にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から 1 つ選べ。 1

- ① A 直木三十五 B 太宰治
- ② A 直木三十五 B 芥川龍之介
- ③ A 菊池寛 B 太宰治
- ④ A 菊池寛 B 芥川龍之介

問 2 文中の空欄ア～ウにあてはまる語句として、最も適切なものを、次の①～④からそれぞれ 1 つ選べ。ア：2 イ：3 ウ：4

- ① 東洋経済新報 ② 朝日新聞 ③ 朝野新聞 ④ 時事新報
- ⑤ 中央公論 ⑥ キング ⑦ 郵便報知新聞 ⑧ 国民新聞
- ⑨ 読売新聞 ⑩ 自由新聞

問 3 下線部③に関連して、大正時代の日本の政治・外交について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から 1 つ選べ。 5

- ① 文官任用令が改正され、政党员にも高級官僚になる道が開かれた。
- ② 加藤高明外務大臣は、袁世凱政府に対し二十一カ条の要求を出した。
- ③ 吉野作造は国民主権を意味する民本主義を唱え、民主化を求めた。
- ④ 四カ国条約の締結によって、日英同盟協約が終了した。

問 4 下線部⑥の復興計画を立案したのは、台湾で民政局長を務めた人物であった。これに関連して、日本統治下の台湾について述べた以下の文 X・Y の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から 1 つ選べ。

- 6
- X 日本は、土地調査事業により土地制度の近代化を行うとともに、製糖業を振興し、米・樟脳などを栽培させて財政基盤を確保するなど、植民地支配をすすめた。
- Y 土地調査事業の過程で多くの農民の土地が国有地に編入され、農民は小作人に転落したが、国有地は国策会社の東洋拓殖会社や日本人地主などに払い下げられた。
- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 - ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 5 下線部④に関連して、日本における鉄道の発展について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から 1 つ選べ。 7

- ① 第 2 次西園寺公望内閣は、民営鉄道 17 社を買収して国有化した。
- ② 官営の東海道線が全通した 1889 年には、営業キロ数で官営鉄道が民営を上まわった。
- ③ 1964 年の東海道新幹線の成功により、国鉄財政は黒字に転換した。
- ④ 阪急電鉄の小林一三は、デパートや宝塚歌劇団と鉄道を組み合わせる独創的な経営を展開した。

問 6 下線部④に関連して、日本の財閥について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から 1 つ選べ。 8

- ① 薩摩藩出身の岩崎弥太郎は、政府の保護を受けて三菱財閥を興した。
- ② 日産・日窒などの新興財閥は、軍と結びついて満洲・朝鮮に進出した。
- ③ 財閥一族がもつ株式を管理する持株会社が、財閥の中核を担った。
- ④ 軍国主義の経済的基盤とみなされ、GHQ により解体が命じられた。

問 7 下線部⑥に関連して、近代日本の芸能について述べた以下の文 X・Y の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から 1 つ選べ。

- 9
- X 江戸時代以来の歌舞伎が、文明開化の風潮のもとで批判にさらされ演劇改良運動がおきたが、明治中期になると「団菊左時代」をむかえて再興した。
- Y 新劇において民衆のための芸術をめざす動きがおこると、島村抱月・松井須磨子等が芸術座、小山内薫が築地小劇場を結成したが、実際の主たる観客は知識人や学生にとどまった。
- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 - ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 8 下線部①に関連して、第二次世界大戦後の労働政策や労働者の置かれた環境について述べた文として、もっとも適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 10

- ① 労働基準法によって労働者の団結権・団体交渉権・争議権が保障されるとともに、8時間労働制が規定された。
- ② 労働組合の全国組織として、左派の日本労働組合総同盟、右派の全日本産業別労働組合会議が結成された。
- ③ 高度成長期には、若年層の労働力不足などによって、工業部門の労働者の賃金が大幅に上昇した。
- ④ 1985年に男女雇用機会均等法が制定されたものの、女性差別撤廃条約の批准は大幅に遅れ、1990年代にずれ込んだ。

問 9 下線部②について述べた以下の文X・Yの正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 11

X この戦争の背景には、植民地の争奪をめぐる、ドイツ・イタリア・オーストリアの三国同盟とイギリス・フランス・ロシアの三国協商との激しい対立があった。

Y パリ講和会議では、アメリカにおける日本人移民排斥への対応として日本が人種差別撤廃案を提起すると、中国と朝鮮の支持を得て、ヴェルサイユ条約案に盛り込まれた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問10 下線部③に関連して、戦間期(1919～1939年)におきた①～⑥の出来事を、年代の古い順から並べたとき、4番目にあたるものを選べ。 12

- ① 金輸出解禁 ② 盧溝橋事件 ③ 五・一五事件
- ④ 虎の門事件 ⑤ 二・二六事件 ⑥ 血盟団事件

問11 下線部①に関連して、近代日本の教育制度について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 13

- ① 原敬内閣で制定された高等学校令によって、高等学校の増設が進んだ。
- ② 大学生の数は、1918年には約9000人であったが、1930年には約7万人に増加した。
- ③ 義務教育機関の授業料が廃止されたため、1902年に就学率が90%を超えた。
- ④ 明治期を通じて、義務教育における就学率の男女差はほとんどなかったが、学校への出席率は女子の方が高かった。